「学び舎」
法学部
法律学科２年
齊藤　小雪

帰りに歩く大学の道がきれいだったので絵を描きました。秋になると校舎の間に植えてある銀杏がいたる所に大きく枝を広げ、そこについている葉っぱが黄色やオレンジなどの鮮やかな色に染まるので道をただ歩くだけでもとても楽しいと感じます。学校帰りのちょうど夕方になりかかっている空が７号館などの校舎や銀杏の木などを照らして懐かしく、なんともいえないような切なさを含んだ秋の雰囲気を醸し出すのが印象に残る風景です。

私がこの絵で特に注目してほしいと思っているのは、秋の雰囲気を醸し出す夕焼けに染まりかかった空の色と黄色やオレンジなどの様々な葉っぱを携えた木の枝です。空は夕方の雰囲気を出すために、普段の青い空の色だけではなく夕焼けを感じさせるピンクや緑を混ぜて美しい秋空を表現しました。また、大きい銀杏の木からいたる所に生えている細い枝を描くために細い筆を整えながら少しずつ描いていくことを気をつけました。